

静岡市生物多様性地域戦略
リーディングプロジェクト進捗状況 個票
(平成30年度末時点)

分野	南アルプス・井川エコパークプロジェクト	実施事業	エコツーリズム推進事業
----	---------------------	------	-------------

項目 01

指標名	①エコツアーの実施回数/ガイド育成講座の実施回数	②普及啓発イベントの開催回数	③南アルプスユネスコエコパークの認知度
指標値	①12回/年 2回/年	②3回/年	③54%
目的	南アルプスとその周辺の井川地域において、生物多様性の保全と住民の生活向上に寄与するための環境教育や自然体験を実施する。		

指標の概要	<p>①【エコツアーの実施回数】 南アルプス井川エコツーリズム推進協議会主催によるエコツアー</p> <p>【エコツアーのガイド育成講座の実施回数】 南アルプス・井川エコツーリズム推進協議会の主催または他団体の講座への参加回数 <毎年実施>自然体験活動指導者の育成(南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家)</p> <p>②エコツーリズムの普及・啓発イベントの開催回数 南アルプス・井川エコツーリズム推進協議会主催 ・生物多様性シンポジウム(ブース出展) ・ふじのくに地球環境史ミュージアムイベント出展 ・市内小学生へのPR活動</p> <p>③ユネスコエコパークの認知度 ・現実行計画に基づく各種事業の実施 ・他課と連携したガイド等の育成及び南アルプスユネスコエコパーク関連教材の充実・普及啓発 平成26年6月 南アルプスユネスコエコパークへの登録決定 平成27年3月 南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画(静岡地域版)の策定 平成28年3月 南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画(静岡地域版)実行計画の策定 ※令和2年度、令和3年度の取組目標は平成30年度に策定する次期実行計画による。 (次期実行計画の目標値:2022年までに54%)</p>
-------	---

①エコツアーの実施回数/エコツアーのガイド育成講座の実施回数

報告	計画	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 (目標年度)
	実績	12回/3回	12回/3回	12回/3回	12回/3回	12回/3回	12回/3回	12回/2回	12回/2回	12回/2回
	進捗	7回/3回	10回/3回	11回/3回	8回/3回	13回/1回	13回/1回	14回/1回		

②エコツーリズムの普及啓発

報告	計画	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 (目標年度)
	実績	2回	2回	2回	3回	3回	3回	3回	3回	3回
	進捗	3回	3回	3回	3回	2回	2回	3回		

③南アルプスユネスコエコパークの認知度

報告	計画	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 (目標年度)
	実績	—	—	ユネスコエコパークの登録	—	—	75%(※1)	54%(※2)	54%(※2)	54%(※2)
	進捗	国内申請 手続準備	申請の提出 推薦決定	登録決定	99%	92%	96%	47%		

※1…南アルプスを誇りに思う市民の割合 ※2…南アルプスユネスコエコパークの認知度

【進捗状況凡例】◎:目標達成 ○:概ね順調 △:要対策 ×:達成困難

分野	南アルプス・井川エコパークプロジェクト	実施事業	南アルプスの高山植物保全・再生事業
----	---------------------	------	-------------------

項目 02

指標名	①保全対象地の現地調査箇所数	②保全・再生活動への参加者数	③講演会の開催回数
指標値	①6箇所/年	②5回・150名/年	③5回/年
目的	市民、NPO、国、県などと連携した高山植物の保全・再生活動を実施するとともに、南アルプスの素晴らしさを多くの方々に広く周知する。		

指標の概要	<p>①保全対象地の現地調査箇所数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度は、熊ノ平における調査の際に、数年来調査が実施されていない北荒川岳の視察を実施。 ・平成25年度～27年度にかけて、市が主体となって設置した千枚小屋周辺のオオサクラソウを含む高山植物や中岳避難小屋周辺のクロユリ群落を保護するための防鹿柵の維持管理及び柵内の植生調査を行っている。 <p>●保全対象地の現地調査箇所数 平成30年度 環境省・県：聖平、茶臼、三伏・塩見、荒川・千枚 市：千枚、中岳、熊ノ平</p>
	<p>②保全・再生活動への参加者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境省及び静岡県が主体となり、南アルプス高山植物保護ボランティアネットワーク等と協働し、防鹿柵の設置や、土砂流出防止用植生マット設置などを行っている。(ボランティア、行政職員等が参加、高校生の参加実績もある) ・平成25年度より市が主体となって、市内の高校山岳部の生徒を対象とした「南アルプス高山植物保護セミナー」を開催している。平成27年度までは防鹿柵の設置作業が中心だったが、平成28年度からは植生調査体験を中心とした内容としている。 <p>●保全・再生活動への参加者数 平成30年度 環境省・県：4箇所、8回、148人 市：1箇所、1回、27人</p>
	<p>③講演会の開催回数</p> <p>これまで実施してきた南アルプス高山植物保護セミナーや、静岡県及び南アルプス高山植物保護ボランティアネットワークと共催してきた高山植物保護に関する講演会に加え、平成28年度からはライチョウサポーター養成講座を開催している。</p> <p>●講演会の開催回数 平成30年度 8回(高山植物保護セミナー、ライチョウサポーター養成講座(2回)、ライチョウ勉強会、県等との講演会、市政出前講座(2回)、井川自然の家トランイベント講話)</p>

①保全対象地の現地調査箇所数

報告	計画	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 (目標年度)
		5箇所	5箇所	5箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所
	実績	4箇所	5箇所	6箇所	6箇所	7箇所	7箇所	7箇所		
進捗			◎	◎	◎	◎	◎	◎		

②保全・再生活動への参加者数

報告	計画	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 (目標年度)
		5回 150名	5回 150名	5回 150名	5回 150名	5回 150名	5回 150名	5回 150名	5回 150名	5回 150名
	実績	6回 170名	10回 227名	8回 180名	5箇所・8回 143名	5箇所・11回 199名	5箇所・9回 177名	5箇所・9回 175名		
進捗			◎	◎	◎	◎	◎	◎		

③講演会の開催回数

報告	計画	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 (目標年度)
		1回	1回	1回	3回	3回	3回	5回	5回	5回
	実績	2回	5回	7回	7回	7回	10回	8回		
進捗			◎	◎	◎	◎	◎	◎		

【進捗状況凡例】◎：目標達成 ○：概ね順調 △：要対策 ×：達成困難

分野	里地里山保全・再生、人づくりプロジェクト	実施事業	里地里山アドプト推進事業
----	----------------------	------	--------------

項目 03

指標名	①放任竹林対策推進事業の参加団体数 (維持管理協定締結団体数)	②緩衝地帯の整備面積	③竹破砕機の延べ貸出回数	④放任竹林の伐採面積
指標値	①1団体/年	②24ha/3箇年	③80回/年	④1.0ha/年
目的	里地里山の自然環境の保全・再生を推進するとともに、保全・再生活動に取り組む市民や団体を支援する。			

指標の概要	<p>①放任竹林対策推進事業の参加団体数（維持管理協定締結団体数） 里山保全体への活動支援により、団体の継続的な活動を推進することで里地里山の保全及び環境保全の啓発を図る。</p> <p>②緩衝地帯の整備面積 ・平成22年度から水見色地区などにおいてモデル的に人と野生動物の緩衝地帯の整備を進める。 ・里地里山に見られる藪の刈払いや耕作放棄された茶の伐採を実施し、イノシシ、サル、シカなどの哺乳動物からの農作物被害を軽減するとともに、植物や昆虫の生育・生息場所となる里山環境の整備を実施する。 ●緩衝地帯の整備面積 平成30年度 7.62ha(茂畑4.32ha、村松1.30ha、馬走1.00ha、由比1.00ha)</p> <p>③竹破砕機の延べ貸出回数 竹破砕機を貸出し、里山保全体体の活動を支援する。</p> <p>④放任竹林の伐採面積 モデル事業として行政が竹林の委託伐採を行い、里山保全体が維持管理を行う。 ●放任竹林の伐採面積 平成30年度 0.97ha（春日三丁目、籠上、流通センター）</p>
-------	--

①放任竹林対策推進事業の参加団体数（維持管理協定締結団体数）

報告	計画	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 (目標年度)
		計2団体			15団体	15団体	15団体	1団体	1団体	1団体
	実績	制度未創設	制度の新設 14団体	2団体	1団体 (累計17団体)	1団体 (累計18団体)	1団体 (累計19団体)	2団体 (累計15団体)		
進捗			—	◎	◎	◎	◎			

②緩衝地帯の整備面積

報告	計画	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 (目標年度)
		30ha			30ha			24ha		
	実績	30ha	15ha	4.86ha	8.81ha	7.68ha	4.98ha	7.62ha		
進捗			△	○	○	△	○			

③竹破砕機の延べ貸出回数

報告	計画	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 (目標年度)
								80回	80回	80回
	実績							74回		
進捗							○			

④放任竹林の伐採面積

報告	計画	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 (目標年度)
		1.2ha	1.2ha	1.2ha	1.0ha	1.0ha	1.0ha	1.0ha	1.0ha	1.0ha
	実績	1.2ha	1.0ha	0.6ha	1.2ha	1.1ha	0.96ha	0.97ha		
進捗			○	◎	◎	○	○			

【進捗状況凡例】◎:目標達成 ○:概ね順調 △:要対策 ×:達成困難

分野	里地里山保全・再生、人づくりプロジェクト	実施事業	環境学習リーダー育成事業
----	----------------------	------	--------------

項目 04

指標名	①環境大学の修了者数	②自然観察会の実施回数	③環境学習の実施回数
指標値	①16名/年	②13回/年	③30回/年
目的	生物多様性や環境に関する知識を有する人材の育成、環境学習会や自然観察会の開催を実施する。		

指標の概要	<p>①環境大学の修了者数 静岡市環境大学では、環境全般について専門的な知識を修得し、身の回りの環境問題の解決に向かって主体的に取り組む環境学習リーダー・学習支援スタッフを育成することにより、よりよい静岡市の環境を将来の世代へ継承することを目指す。</p> <p><生物多様性に関しては、平成30年度にカリキュラムを大幅に組み替えた。></p> <ul style="list-style-type: none"> ・駿河湾の深海を有する静岡ならではのプログラム「深海魚ミズウオから学ぶ海洋環境の問題」(東海大学海洋科学博物館)を導入し、海洋汚染に対する知識の深化を図る。 ・自然再生手法を紹介する講義「生物多様性の保全 最初の一步」(常葉大学山田名誉教授)を導入し、自然再生活動のきっかけづくりを図る。 <p>②麻機遊水地における環境学習などの実施回数 麻機遊水地保全活用推進協議会に所属する団体・企業等により夏・秋を中心に自然観察会や各種イベントにおけるブース出展等の啓発活動が行われ、各回30人～100人程度の参加者に対して希少種の保護や外来生物の情報等の啓発が行われている。</p> <p>③環境学習の実施回数 次世代を担う児童・生徒に対し、適正な分別排出、ごみの減量化と資源化に関する啓発、工場見学などの総合的な環境学習を実施する。生物多様性関連の講座イベントとしては、雑がみと植物からはがきづくり、竹で行燈づくり、植物のふしぎを発見しよう等の講座を開催。</p>
-------	--

①環境大学の終了者数

報告	計画	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 (目標年度)
	実績	25名	25名	25名	25名	25名	25名	16名	16名	16名
	進捗			○	◎	○	○	○		

②自然観察会の実施回数

報告	計画	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 (目標年度)
	実績	6回	6回	6回	13回	13回	13回	13回	13回	13回
	進捗			◎	○	○	○	○		

③環境学習の実施回数

報告	計画	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 (目標年度)
	実績	20回	20回	20回	30回	30回	30回	30回	30回	30回
	進捗			◎	◎	◎	◎	◎		

【進捗状況凡例】◎: 目標達成 ○: 概ね順調 △: 要対策 ×: 達成困難

分野	里地里山保全・再生、人づくりプロジェクト	実施事業	生物多様性に配慮したライフスタイル推進事業
----	----------------------	------	-----------------------

項目 05

指標名	①エコファーマーの認定者数	②緑化に対する補助件数	③森林認証制度などの認知度
指標値	①200名	②950件/年	③12%(エコファーマー) 5%(森林認証制度)
目的	生活の身近な場面における生物多様性の保全につながる取り組みを促進することで、生物多様性に配慮したライフスタイルへの転換を目指す。		

指標の概要	<p>①エコファーマーの認定者数 年2回の認定審査会の開催、アグリフェスタしみずでのPR実施、農業委員会だよりを使った新規エコファーマー募集により、新規認定希望者や消費者へのエコファーマー制度の周知を定期的に行っている。 高齢化等により、更新しない認定者(認定期間は原則5年)が増加し、認定者数は毎年減少している。</p> <p>②緑化に対する補助件数 自治会や花壇づくり団体が設置・管理する花壇に対する花苗や資材の配布。花と緑の推進員を中心とした市民ボランティアと共に花苗等配布の積み込み作業を実施する。各地域、公共施設等への植付け、維持管理については各自治会、花壇団体で行う。 配布回数:3回/年(6月、11月、3月 ※3月は資材配付のみ)</p> <p>③森林認証制度などの認知度 生物多様性に配慮した農林漁業の認証制度として、以下の2つの制度を指標に設定し、イベント等でパネル展示する等して、認知度の向上を図る。 ・エコファーマー (市内に約120名の認証取得者がいる) ・SGEC森林認証制度(静岡市林業研究会、オクシズ森林認証協議会、高山・市民の森が認証取得)</p> <p>エコファーマー認定者は、個々に「エコファーマーマーク」を貼付して農産物の販売や出荷を行うことで、制度の周知や普及に努めている。</p>
-------	---

①エコファーマーの認定者数

報告	計画	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 (目標年度)
	実績	350名	350名	350名	310名	200名	200名	200名	200名	200名
	進捗			△	○	○	○	△		

②緑化に対する補助件数

報告	計画	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 (目標年度)
	実績	70件(※1)	70件(※1)	70件(※1)	1,050件(※2)	950件(※2)	950件(※2)	950件(※2)	950件(※2)	950件(※2)
	進捗	58件	H24に制度廃止	H24に制度廃止	969件	934件	977件	926件		

※1・・・生垣・屋上・壁面緑化補助 ※2・・・花苗配布による緑化支援団体数

③森林認証制度などの認知度

報告	計画	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 (目標年度)
	実績		H24結果から 10%増加	H24結果から 10%増加	①20% ②10% ③10%	①20% ②10% ③10%	①20% ②10% ③10%	①12% ②5%	①12% ②5%	①12% ②5%
	進捗	①17.4% ②4.3% ③4.4%	①19.8% ②7.3% ③7.7%	①16.1% ②9.3% ③2.1%	①6.9% ②3.5% ③0.7%	①9.0% ②1.0% ③1.0%	①2.9% ②4.4% ③2.9%	①1.5% ②1.5%		

①・・・エコファーマー ②・・・SGEC森林認証制度 ③・・・MELジャパン

【進捗状況凡例】◎:目標達成 ○:概ね順調 △:要対策 ×:達成困難

分野	生きものモニタリングプロジェクト	実施事業	“静岡市版生きものマップ”作成事業
----	------------------	------	-------------------

項目 06

指標名	①散策ルートの選定数	②調査実施回数及び参加者数	③マップの生きものの種数
指標値	①27コース(R2まで)	②20回・500名/年	③15件/年 (外来生物の投稿件数)
目的	市民が自然とふれあえる場を紹介するとともに市民による生きもの調査を実施し、これらの情報を集約した“静岡市版生きものマップ”を作成する。市民による継続的な生きもの調査の実施と“静岡市版生きものマップ”への情報の集約・蓄積を目指す。		

指標の概要	<p>①散策ルートの選定数 自然とふれあう場所や機会を市民に提供し、自然・生きものに対する興味や理解の増進を図ることを目的に、市内の主要ハイキングコース等について、春・夏・秋～冬の3回のモニタリング調査を実施し、いきもの散策マップを作成する。 平成30年度に残り2コースの候補地を検討し、令和元年度に「久能山東照宮」及び「小鹿の森公園」について、マップを作成。</p> <p>②調査実施回数及び参加者数 いきもの散策マップを使った観察会の開催</p> <p>③マップの生きものの種数 市が実施したモニタリング調査結果(発見場所・写真等)及び一般市民からの投稿情報を、ウェブサイト「しぜんたんけんてちょう」内の「しぜんたんけんマップ」に掲載し、情報発信を行っている。</p>
-------	--

①散策ルートの選定数

報告	計画	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 (目標年度)
	実績	8コース	8コース	8コース	24コース作成済	1コース (25コース作成済)	残り2コース選定 (25コース作成済)	計25コース作成 残り2コース選定		27コース
	進捗			◎	◎	○	○	○		

②調査実施回数及び参加者数

報告	計画	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 (目標年度)
	実績	3回 60名	3回 60名	3回 60名	5回 100名	5回 100名	5回 100名	20回 500名	20回 500名	20回 500名
	進捗			◎	◎	◎	◎	○		

③マップの生きものの種数(しぜんたんけんマップへの生物発見情報投稿数【外来生物】)

報告	計画	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 (目標年度)
	実績	3,102件 (118件追加)	3,130件 (28件追加)	3,317件 (187件追加)	3,346件 (46件追加)	3,345件 (28件追加)	3,378件 (33件追加)	15件(※2)	15件(※2)	15件(※2)
	進捗			◎	△	△	△	◎		

※1…しぜんたんけんマップ情報数 ※2…生物発見情報投稿数・外来生物の投稿件数

【進捗状況凡例】◎:目標達成 ○:概ね順調 △:要対策 ×:達成困難

分野	生きものモニタリングプロジェクト	実施事業	外来種の適正管理事業
----	------------------	------	------------

項目 07

指標名	①特定外来生物を対象にした生きもの調査の実施回数	②モデル地区における防除対策の実施状況
指標値	①10回/年	②麻機遊水地での特定外来生物の駆除活動
目的	市内における特定外来生物による被害状況や、モニタリング等の調査に基づき、専門家の意見を踏まえた適正な管理方法や、市民との協働による実施体制の構築を目指すとともに、市民が特定外来生物を見る、知る場を提供することにより、特定外来生物をはじめとした外来種に対する意識の向上を図る。	

指標の概要	<p>①特定外来生物を対象にした生きもの調査の実施回数 静岡市内で確認されている特定外来生物(オオキンケイギク、アルゼンチンアリ、カミツキガメ、アライグマ、セアカゴケグモ、ヒアリ、他)について、市民等と協力しながら調査を行う。 また、生物状況調査及び防除対策を、専門家、静岡県、国、市民等と連携して継続実施する。</p> <p>●生きもの調査の実施回数 平成30年度 計41回 (オオキンケイギク 5回、カミツキガメ 3回、アライグマ 12回、セアカゴケグモ 9回、アルゼンチンアリ 7回、ヒアリ 3回、ナルトサワギク 2回)</p> <p>②モデル地区における防除対策の実施状況 麻機遊水地保全活用推進協議会の専門委員の協力を得て、遊水地内生物の生息調査を不定期に行い、カミツキガメ等の特定外来生物やミシシippアカミミガメ等の外来生物の駆除を行っている。 また、花ハスや絶滅危惧種であるオニバスの池では、ヒメガマが繁茂してそれらの植物の生息の障害となるため、地域住民により駆除活動が行われている。</p>
-------	--

①特定外来生物を対象にした生きもの調査の実施回数

報告	計画	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 (目標年度)
		10回	10回	10回	10回	10回	10回	10回	10回	10回
	実績 進捗	66回	47回	10回	13回	14回	16回	41回		
				◎	◎	◎	◎	◎		

②モデル地区における防除対策の実施状況

報告	計画	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 (目標年度)
		実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
	実績 進捗	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施		
				◎	◎	◎	◎	◎		

【進捗状況凡例】◎: 目標達成 ○: 概ね順調 △: 要対策 ×: 達成困難